

第一回 神戸市都市デザイン賞

第1回 神戸市都市デザイン賞 受賞作品

まちのデザイン部門

■ 建築文化賞

神戸国際中学校・高等学校河野記念アルモニホール

■ 景観・ポイント賞

地 chickenBAR ひなのや

すまうら文庫

京速コンピュータ「京」レセプタクル モニュメント「発展の塔」

■ ストック再生賞

海外移住と文化の交流センター

■ 市民活動賞

鉄人28号モニュメント

神戸元町まちなみコンテスト

CASBEE 建築部門

■ CASBEE 建築賞

シスメックステクノパーク R&D タワー

アシックス本社東館

シティアンダンテ学園東町 VC4- 号地・VC8- 号地

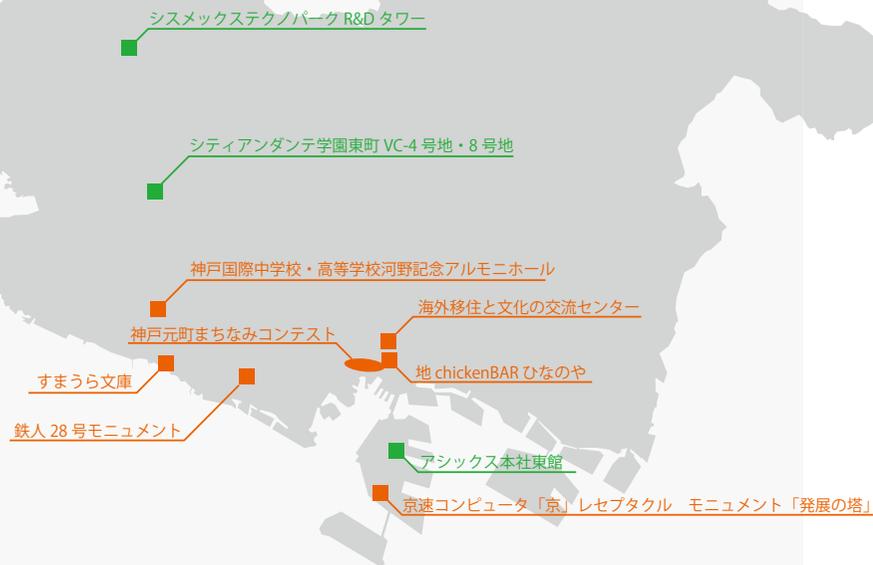


神戸市 都市計画総局 計画部 まちのデザイン室
建築指導部 建築安全課



問い合わせ先
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 (神戸市役所 2 号館 4 階)
TEL 078-322-5484 FAX 078-322-6096
E-mail keikan@office.city.kobe.lg.jp
神戸市ホームページからもご覧いただけます。

平成 24 年 2 月発行 神戸市都市計画総局計画部まちのデザイン室
神戸市広報印刷物登録 平成 23 年度 第 311 号 (広報印刷物規格 B-1 類)



神戸市では「デザイン都市・神戸」を推進する一環として、神戸らしい魅力ある景観やまちなみをまもり、つくり、そだてる取り組みを進めています。

神戸市都市デザイン賞では、この神戸らしい魅力ある空間・環境を形成している建築物等を表彰し、市内外に広く発信していきます。

神戸市都市デザイン賞には、神戸らしい景観やまちなみを形成している建築物などを表彰する「まちのデザイン部門」と、環境に配慮された優れた取り組みを行っている建築物などを表彰する「C A S B E E 建築部門」の2部門があります。



まちのデザイン部門 建築文化賞
神戸国際中学校・高等学校
河野記念アルモニホール

瀬戸内海や淡路島をのぞむ須磨区高倉台の丘陵地に建つ、中高女子一貫校の多目的ホール（講堂・体育館）である。

豊かな自然の緑地に面する建物北立面は木架構による開放的なファサードを構成して、緑の斜面から流れる風を内部空間に取り入れ、里山に反射した柔らかな間接光を導くなど、自然と呼应し一体化した豊かな空間を創出している。コンクリートと木架構が融合した存在感のある大胆な構成をとりつつも、海と山という神戸特有の景観特性を踏まえた優れた建築である。



まちのデザイン部門 景観・ポイント賞
地 chickenBAR ひなのや

都心の繁華街にあって、通りに面する店舗の内部空間を全面開放した小さなダイニングバーである。通りから続く床面がカウンターへ連続するように仕込まれた一体的な内外空間のデザインによって、通りから人を呼び込み、まちなみの核をつくりだすとともに、地域全体の賑わいにつながることを期待させる。これまでの神戸にはない、まちと建築がシームレスにつながる斬新なデザインで、「デザイン都市・神戸」にふさわしい建築である。

すまうら文庫



地域のこどもたちに開放される絵本文庫としてつくられたもの。須磨海岸の近くの旧西国街道沿いに位置することから、「船」をイメージさせるシンボリックな外観でありながら、まちなみに溶け込んだ親しみあるスケールのデザインとなっている。内部空間もこどもの空間にふさわしいスケールと質感でまとめられ、こどもたちが多くの本と出会う環境をつくり、子供だけでなく大人たちも交流できる、地域コミュニティのシンボルとなっている。



世界最高速の京速コンピュータ「京」がおかれる計算機ゾーンと、世界最高水準のスーパーコンピューティング研究開発拠点としての研究ゾーンから成る研究施設に設置されたモニュメントである。計算の起源を象徴するそろばんのコマの形をモチーフとし、次世代スパコンの性能の高さ、人間の歴史と未来、東西の文化・科学技術交流などを象徴するもので、日本の計算科学技術を神戸から世界へ発信する研究施設にふさわしいモニュメントである。

まちのデザイン部門 景観・ポイント賞

京速コンピュータ「京」レセプタクル
モニュメント「発展の塔」

まちのデザイン部門 ストック再生賞

海外移住と文化の交流センター



昭和3年に国立神戸移民収容所として開設された施設をミュージアム等として再整備したものである。かつてはブラジル移民など海外移住の拠点であり、多くの人々にとって思い出のあるこの建物を、神戸の歴史を継承する外国人支援の拠点、文化交流の場として再生することの意義は大きい。耐震補強や増築などを行いつつ、当初の建物の雰囲気を変えるだけ残していることから、ストック再生の優れた例といえる。



©光プロ/KOBE鉄人PROJECT2011

まちのデザイン部門 市民活動賞

鉄人 28 号モニュメント

「鉄人 28 号」は、神戸出身の漫画家・横山光輝の代表的な作品のロボットとしてよく知られている。このモニュメントは、アニメ文化の振興や交流を通じて、地域の総合的なまちづくりと活性化を活動の目的とする NPO 法人「KOBE 鉄人 PROJECT」が主体となり、個人や企業からの寄付や協賛金などによって、新長田駅南地区の震災復興市街地再開発事業区域内の若松公園に設置されたもの。震災からの復興をめざす新たな地域活性化のシンボルとして大きな話題になるとともに、その視覚的なインパクトからまちに元気をもたらすことに貢献している。



まちのデザイン部門 市民活動賞

神戸元町まちなみコンテスト

みなと元町タウン協議会は、平成3年の設立以来、様々なまちづくり活動に取り組む中、平成15年には元町商店街沿道で景観形成市民協定を締結し、まちなみルールを運用しながら景観の向上に取り組んできた。

この「神戸元町まちなみコンテスト」の活動は、その持続的な取り組みをさらに進展させたもので、高級・ハイカラ・エレガントな「元町らしさ」を継承・発展させ、魅力と風格あるまちなみの形成を目的としている。大学や行政機関やマスコミと連携し、詳細な実態調査や一般投票により実施した点で画期的な取り組みである。

CASBEE 建築部門 CASBEE 建築賞

シスメックステクノパーク R&D タワー



広大な敷地を活かし、建物と水面を配す手法は海外では多くみられるスタイルであるが、我が国ではまだ希少であり、景観への配慮の点でまず多くの賞賛を得た。外部ルーバー付きガラスカーテンウォールをはじめとした環境負荷の低減や構造・設備におけるリスクマネジメントへの対応など、総合的に努めており、CASBEE 建築賞として極めて高い評価を得た。

CASBEE 建築部門 CASBEE 建築賞

アシックス本社東館

自然の風や光を取り入れる等、積極的にパッシブ手法を採用し、自然環境と呼応する新たな環境配慮型オフィスを提案している。構造の相応の工夫により実現された、透明性が高く、外部に開放的な空間は利用者の知的創造性を刺激するとともに、緑豊かな周辺環境とも見事に調和している。今後のオフィスの有り方の一つの指針となることを期待した授賞である。



CASBEE 建築部門 CASBEE 建築賞

シティアンダンテ学園東町 VC-4 号地・VC-8 号地



居住空間の質を確保しながら、太陽光発電や高断熱・高効率機器の導入、外構における緑の確保等によって、CASBEE の評価システムを熟知した手慣れた対応により高得点を挙げていることが高く評価された一戸建て住宅の先進的事例である。環境配慮の取組を広く一般に普及させるモデルとしての役割が期待されるが、通りすがりの一般の人々にもより分かりやすい工夫が望まれた。神戸らしい環境配慮型戸建住宅の今後の発展に期待を込めた授賞である。

対象

(1) まちのデザイン部門

- ◇神戸市内の建築物、工作物、土木構造物、屋外広告物など
- ◇神戸らしいまちなみ、オープンスペース、植栽など
- ◇既存建築物を転活用・改修した建築物
- ◇美しいまちなみを形成または保全する取り組みを行っている団体

(2) CASBEE 建築部門

- ◇おおむね3年以内に完成した神戸市内の建築物（規模・用途は不問）で、環境配慮等の取り組みを行っているもの（神戸市建築物総合環境評価制度又は神戸市すまいの環境性能表示で定める基準による評価が必要なもの）

選考

美しいデザイン、自然環境への配慮、伝統や賑わいのあるまちなみへの配慮、まちのシンボル・ランドマーク、新しいまちなみ景観の創出、まちづくり活動によって神戸の美しいまちの景観を作り出している、などの点を専門家による選考委員会等で評価し、選考を実施。

選考委員

三輪 康一	神戸大学大学院工学研究科准教授
岩前 篤	近畿大学建築学部教授
末包 伸吾	関西大学環境都市工学部教授
田中 まこ	神戸フィルムオフィス代表
野見山 由紀子	草木花景代表
藤本 英子	京都市立芸術大学美術学部教授
桜間 裕章	神戸新聞社論説副委員長
森崎 輝行	建築家
梶木 典子	神戸女子大学家政学部准教授
八木 景子	(社)兵庫県建築士会

選考経過

- 推薦受付期間
平成 23 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日
- 選考委員会
平成 23 年 10 月 21 日、10 月 26 日、11 月 29 日
- 表彰式
平成 24 年 2 月 12 日（日） 神戸市立博物館 地階講堂